



女性協議会

女性協議会第42回定期大会

働きやすい組織・制度を作るには

民放労連女性協議会第四
二回定期大会が10月4日
(日)に東京・アリエル五
反田会議室にて行われ、北
海道から九州まで各地連か
ら一五名が参加しました。

まず2015年度の方針
案・議案書の提案および討
議が行われました。その中
で特に「出産経験のある女
性がトップに立つことの重
要性」について多くの意見
が出ました。番組のトップ
が出産経験のある女性だと
育児中の時間制約や大変さ
について理解があるため、
そういった女性が問題なく
働けるよう組織と労働の在
り方のほうを変える努力を
してくれそうです。時間に制限
のある人を排除しないため
には本人の努力を求めるこ
とでは解決にならず、組織
や制度を変えるのが不可欠
ですが、それをするために
はやはり女性が権力を持つ
のが近道です。

また、出産や介護にまつ
わる新たな制度が続々と作
られている昨今ですが、新
たな制度ができたときはそ
の明文化がとても重要であ
るということを確認しあい

●女性協
URL
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

ました。中には、様々な状
況に対応できるように、と
いう理由で規定をゆるく定
めているケースも多いよう
ですが、せっかくできた制
度でも不利な条件で適用さ
れる恐れがあります。

続いて各地連の報告が行
われました。さまざまな内
容が出ましたが、特に盛り
上がったのは各単組での女
性組合員の活動についてで
す。単組ごとに様々な事情
を抱えていました。ある単
組では組合への加入率は高
く女性部の活動も活発なの



放送で働く女性の先輩でもある
谷岡理香・東海大教授による講演

ですが、女性部としての要
求のまとめ、議案書の作成、
講演会の準備など、やるこ
とが多すぎて活動そのもの
が負担になってしまったそ
うです。今は活動内容の見
直しをしているとのことだ
した。またそれとは逆に、

多くの単組では組合加入者
の減少と女性組合員の活動
の難しさに頭を悩ませてい
るようでした。若い女性組
合員を増やすためにも意見
交換を目的とした女性ラン
チ会などを積極的に行うと
いい、また、執行委員会

夕方以降ではなく昼休みに
行ったほうが集まりやすい
しダラダラと長引かないな
ど、組合活動を維持するた
めの工夫を話し合いました。

後半は東海大学文学部広
報メディア学科教授・谷岡
理香さんによる講演でし
た。マスメディアで働く女
性の現状について調査して
いる谷岡さんは女性記者お
よび女性管理職の必要性を
強く説きました。それは「ニ
ュース価値の判断」におい
て女性の感覚が重要である
からです。高齢化、介護、
少子化、DV、環境…など、
かつては私的分野として報
道の対象外だとされたこと
が社会問題として顕在化し
ています。これらの問題を
「重要である」「ニュース
にすべきことである」と判
断するのは生活者としての

視点に欠ける男性よりも女
性のほうが適していると思
えられます。また、それを
実現させるためには報道で
働く人たちがみんな働き
方を変えていくことが必要
です。一つのネタを取材、

編集、放送まで一人だけで
抱え込むようなスタイルを
見直していくべきです。二
四時間張り込まないと得ら
れないような情報のみがス
クープの在り方ではないと
思います。